

レタッチお助け隊

●ナビゲーター Let'sフォト絵

【今回使用したソフト】AdobePhotoshopElements(TM) アドビシステムズ

1月

FUNCTION

ぼかしフィルタ

スポーツシーンを激写風にレタッチする!



今回のデジカメ撮影機能では、「絞り優先」とか「最大開放値」という用語が出てきて、ちょっぴり面倒だなあ~と感じた人もいるのでは?でも、こちらのレタッチお助け隊なら、もっと直感的に画像を加工できるので、ぜひ、あなたもスキーヤーになった気分楽しくやってみてね。

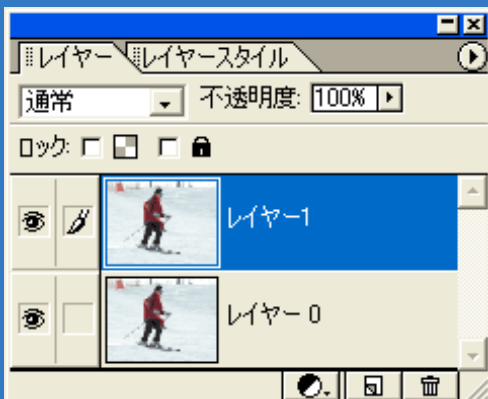
Section 1

ぼかしフィルタの効果を利用する

まず、レタッチする写真画像を用意しましょう。そして、以下のような操作をはじめます。

【操作手順】

- 1 元画像をレイヤーコピーして、もう一枚同じ画像を上重ねます。



- 2 コピーして出来上がった「レイヤー1」に、[フィルタ]-[ぼかし]-[ぼかし(ガウス)]を実行します。

Before

■元レイヤーをコピーして、それにぼかしフィルタ効果を



ぼかしフィルタ効果を実行する際、「半径」の値は、そのときの画像の大きさ(ピクセル数)によって効果の度合いが異なります。

プレビューにチェックを入れて、適当な数値が見つかるまで試してみてください。



Section 2

スキーヤーを消してしまおう

つぎに「レイヤー1」をコピーして「レイヤー2」を作成し、それを加工します。加工の対象は、写っている人物。ぼかしフィルタによってボケた人物は不用のため、消しゴムツールを使って消去してしまいましょう。その際、「レイヤー1」を非表示にしておくと、作業がしやすいですよ。

Challenge

■ぼかした人物は消去し、ピントを合わせたように見せます

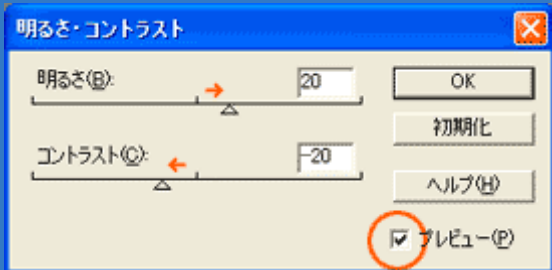


人物と背景の境界は、できるだけいねいに消していきます。

Step 3

明るさ・コントラストを補正する

さらに「レイヤー2」をコピーして「レイヤー3」を作成します。そして「明るさ・コントラスト」で画像の露出を補正しましょう。



設定する数値は、画像によって異なります。プレビューにチェックを入れて、適当なイメージになるまで試してみてください。

Challenge

■「明るさ・コントラスト」で適正露出に補正を今回の背景は、白いゲレンデです。カメラまかせの露出では、白い景色は見た目ほど白っぽさが出ません。そのため、ここで一度「明るさ・コントラスト」を変更して露出を補正します。



背景が明るくなると、白いゲレンデにスキーヤーが映えるようになります。

Step 4

ぼかし(移動)効果でスピード感を

さらに「レイヤー3」をコピーして「レイヤー4」を作成します。そして、仕上げとしてふたたび「ぼかしフィルタ」をかけますが、今度は前回とぼかし方の違う「ぼかし(移動)」を実行します。

【操作手順】

- 1 コピーして出来上がった「レイヤー4」に、[フィルタ]-[ぼかし]-[ぼかし(移動)]を実行します。
- 2 角度や距離の適当な数値を入力し「OK」を押します。



After

■スピード感を演出しよう
ぼかしフィルタ効果には、いくつかの種類があり、中でも「ぼかし(移動)」は、スピード感を演出するのに最適です。



■レイヤーを統合すれば、完成
そして、今まで作成したレイヤーをすべて統合すれば、一枚の写真画像が完成です。



どうでしょう？最初のオリジナル画像と比較すると、かなりダイナミックなイメージになりましたね